

アフガニスタン民衆1万5千人を殺した張本人 アジアと世界で戦争の種をまき散らす

戦争屋ブッシュの訪日反対！

ブッシュ大統領が初来日し、2月18日には小泉首相との日米首脳会談が予定されています。私たちは、アフガニスタンの1万5千人もの人々を殺戮した張本人、新たな戦争を世界各地で引き起こそうとしているこの正真正銘の戦争屋、世界平和への敵対者の訪日に断固反対します。

ブッシュ大統領は、1月末の「一般教書」で、遂に北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）、イラン、イラクを名指しして「悪の枢軸」と位置づけ、まるで宣戦布告のような宣言をしました。また、パレスチナへの侵略を強めるイスラエル・シャロン首相への支持を鮮明にしています。かつてレーガン大統領がソ連を「悪の帝国」と決めつけ超核軍拡で対抗した80年代以来20年ぶりという時代錯誤的な大軍拡予算を組んでいます。

すでにフィリピンではアメリカが軍事行動を開始しています。私たちは、これ以上アメリカが東アジア、東南アジアで戦争と紛争のタネをまき散らすのを黙っていられません。このままではタカ派でアメリカべったりの小泉首相が有事法制など新たな軍事協力をするのは明らかです。沖縄をはじめ在日米軍基地が米の新しい戦争に動員されていきます。ブッシュ大統領と小泉首相という危険な2人が握手し、アジアの戦争と挑発で合意することを絶対許してはなりません。ブッシュ大統領の訪日と日米首脳会談に抗議の声を上げましょう。



地球儀を前に思案する「独裁者」。「テロ撲滅」と言えば何をやっても許される。「彼らを憎むのが義務だ。我々はこの国を併合する。」（チャップリン「独裁者より」）

戦争協力の日米首脳会談反対！

作成：アメリカの「報復戦争」と
日本の参戦に反対する署名事務局